

Cシリーズマニュアル

cervélo

vélo

目次

はじめに.....	1
フレームの特徴.....	2
フォークの準備.....	3
小さな部品.....	5
フレームの準備.....	6
ブレーキハウジングの取り付け.....	7
機械ケーブル配線.....	9
電気ケーブル配線.....	11
マッドガードの取り付け	13
フレームガードの取り付け.....	16
スルーアクスルホイールの取り付け.....	17

導入

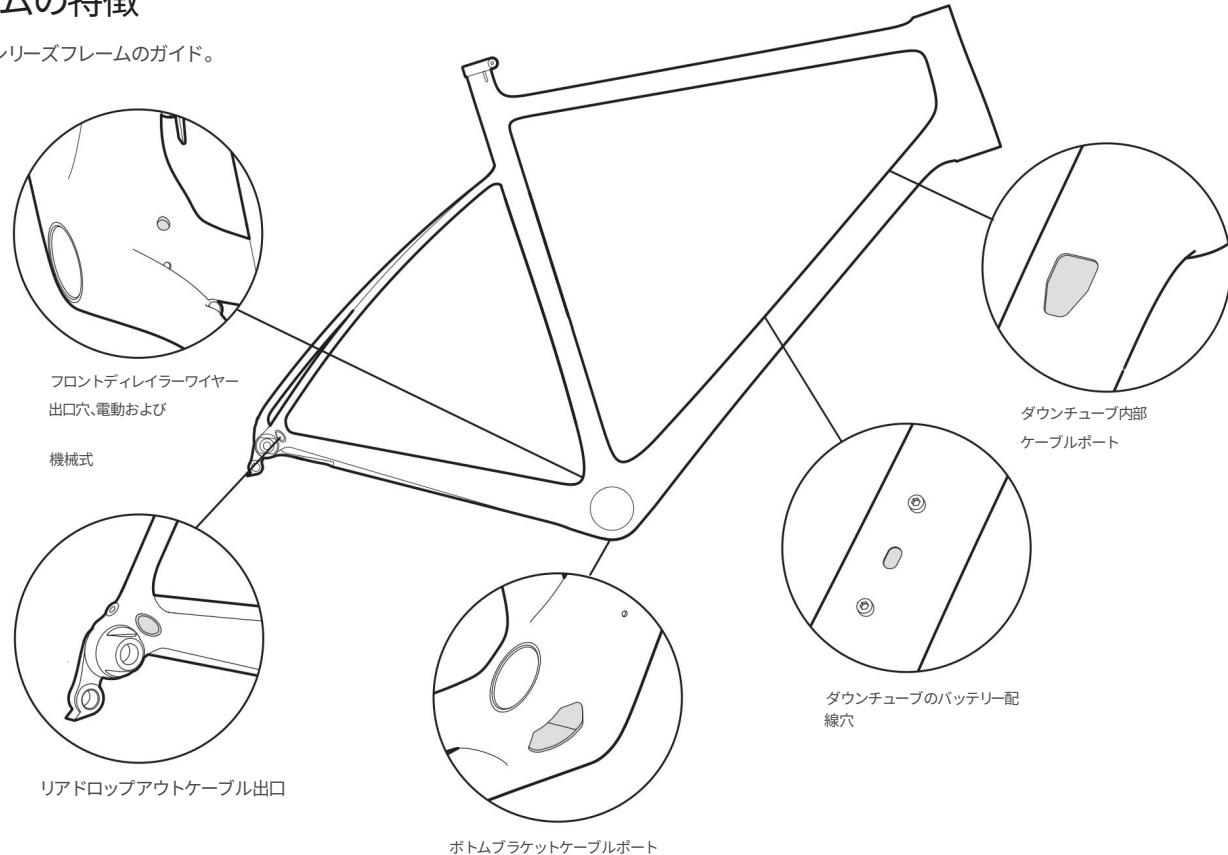
Cervélo ファミリーへようこそ。C シリーズの自転車をお選びいただき、誠にありがとうございます。

インスピレーションを刺激するCシリーズは、すべてのCervéloに搭載されている卓越した軽量性と剛性に加え、ライダーの自信を高め、一日中快適に走れるよう設計されたジオメトリーを融合しています。25年にわたりハイパフォーマンスの定義をしてきた私たちは、未踏の道を進むあなたと共に歩むことを光栄に思います。

このドキュメントは、C シリーズの独自機能の組み立て手順を説明するために作成されていますが、コンポーネント製造元が提供する組み立て手順の補足としてのみ使用されることを目的としています。

フレームの特徴

Cervélo C シリーズフレームのガイド。



フォークの準備

A.システムキャップ + 5mmボルト

B.ヘッドセットスペーサー

C.ペアリングキャップ

D.圧縮リング

E.ペアリング

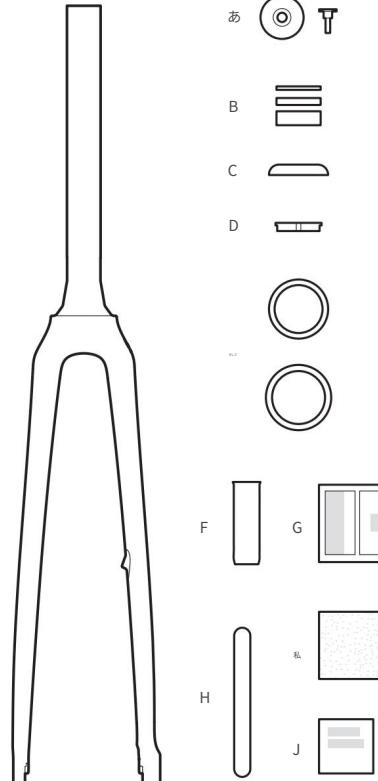
F.フォークインサート

G.2液型エポキシ

H.ミキシングスティック

I.イソプロピルアルコールワイプ

J.サンドペーパー (120番)



- ペアリングシートにグリースを塗布し、上部と下部を取り付けます。
ヘッドセットペアリングをヘッドチューブに組み込みます。

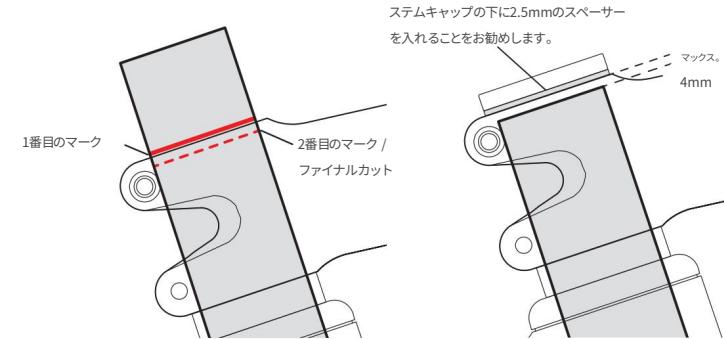
- ヘッドセットを装着したフォークをヘッドチューブに取り付けます。
必要なスペーサーとシステム。

- アセンブリが完全に固定されていることを確認するために必要な最小限の圧力を加えます。システムの上部にあるステアチューブに印を付けます。

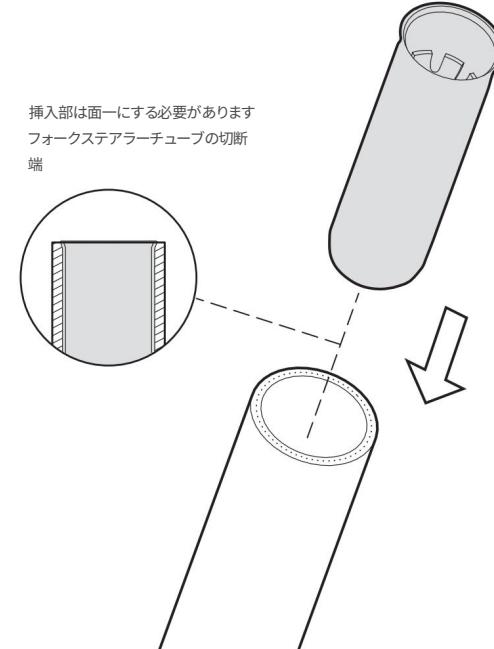
- フォークを取り外し、フォークステアラーチューブに明確に印を付けます。
最初の印から4mm下の点。この測定値がステアチューブのカットラインとなるため、必ず正しいことを確認してください。

⚠️ ペアリングキャップを含めたスペーサーの合計最大高さは 50 mm を超えない
ようにしてください。

⚠️ 炭素複合材料の切断時に発生する粉塵を吸い込まないようにしてください。

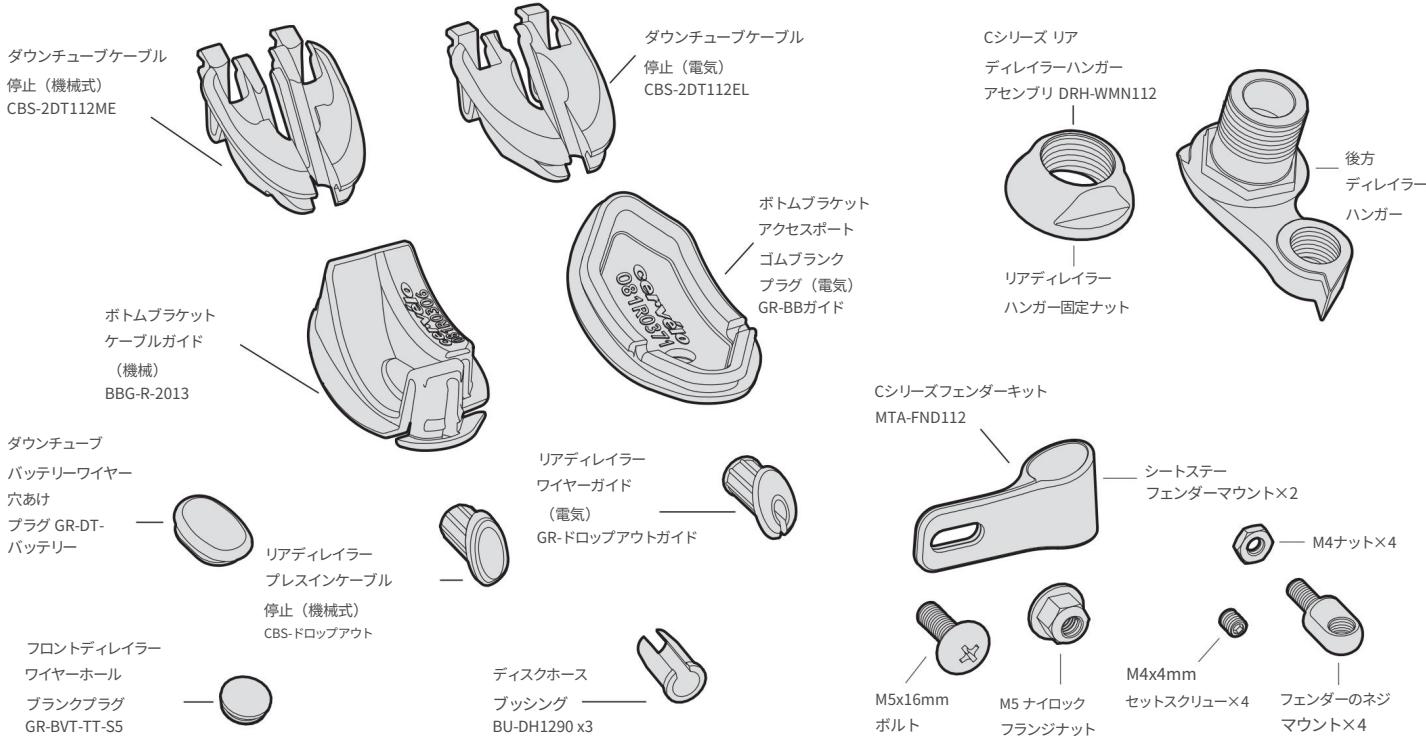


5. フォークステアラーをトリミングするには、カーボンの切断に適した鋸のみを使用してください。
そしてカッティングガイド。
 6. ステアラーの切断端の内側に慎重に斜面をやすりで削ります。
インサートにフィットするチューブ。
 7. インサートを仮組みして、ステアラー チューブの切断端と面一になっていることを確認します。
 8. イソプロピルアルコールを使用して、ステアラーチューブの内側とインサートの外側を清掃します。
 9. 2 成分エポキシを完全に混ぜ、木製のミキシング スティックを使用してインサートの外側の表面に塗布します。
 10. インサートをゆっくり回転させながらステアラーに差し込み、広がった端がステアラーの上部と面一になるまで押し込みます。
 11. イソプロピルアルコールワイプを使用して、ステアラーチューブの外側の表面から余分な接着剤を拭き取ります。
 12. フォークを脇に置き、そのまま置いておく。
硬化期間。
- ▲ 完成前にフォークを取り付けようとしないでください。
完全な硬化期間の。
- ▲ ステアラーチューブを不適切に切断すると、重大な傷害または死亡につながる故障が発生する可能性があります。

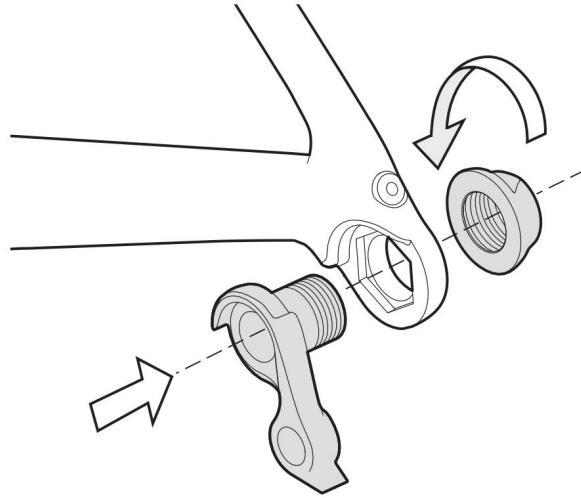


小さな部品

Cシリーズのフレームは、電子制御、機械式、油圧式の制御システムに対応するよう設計されており、方式やブランドを問わず、あらゆる変速システムをシームレスに統合できます。そのためには、以下のパーツが必要です。

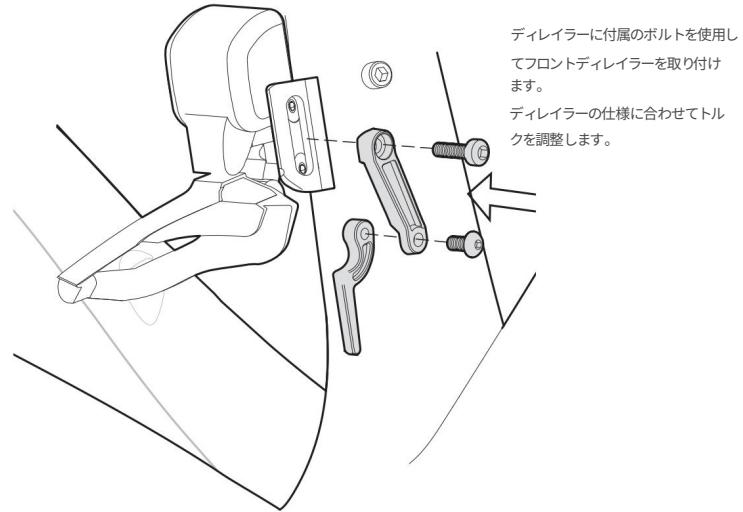


フレームの準備



リアディレイラーハンガー固定ナットに軽くグリースを塗り、リアディレイラーハンガーを指で締め付けます。最終締め付けはリアホイールを取り付けた後に行います。

⚠️ 後輪を取り付けていない状態でリアディレイラーハンガーアセンブリを本締めしないでください。そうしないと、ディレイラーの位置がずれ、変速が悪くなります。

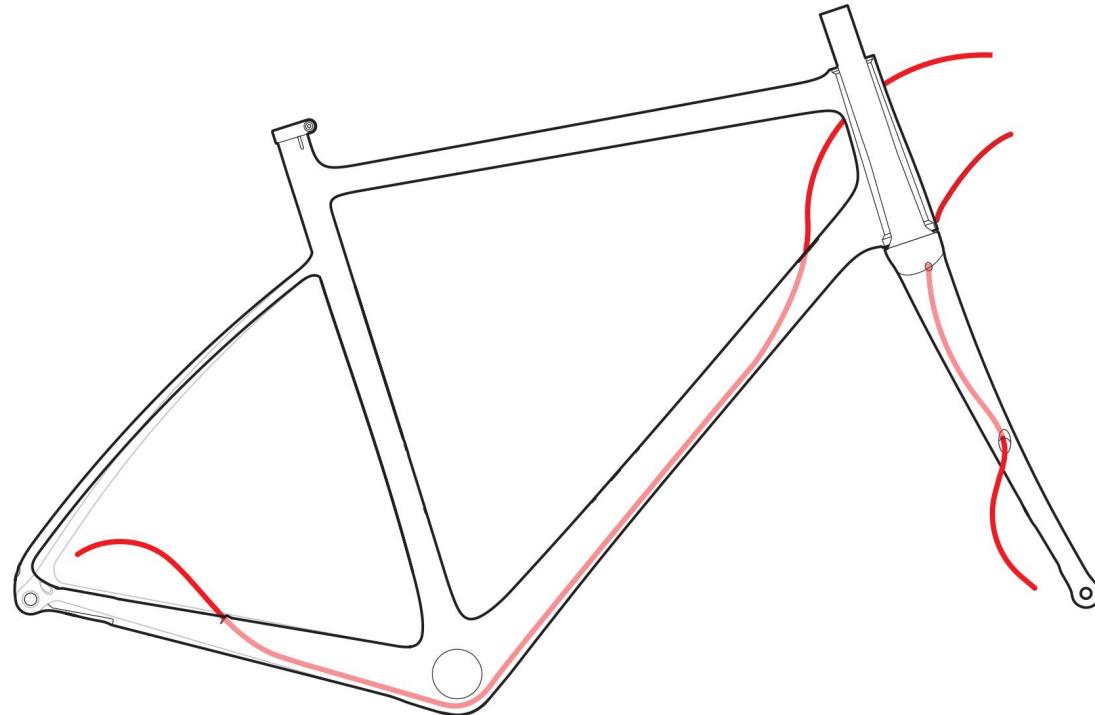


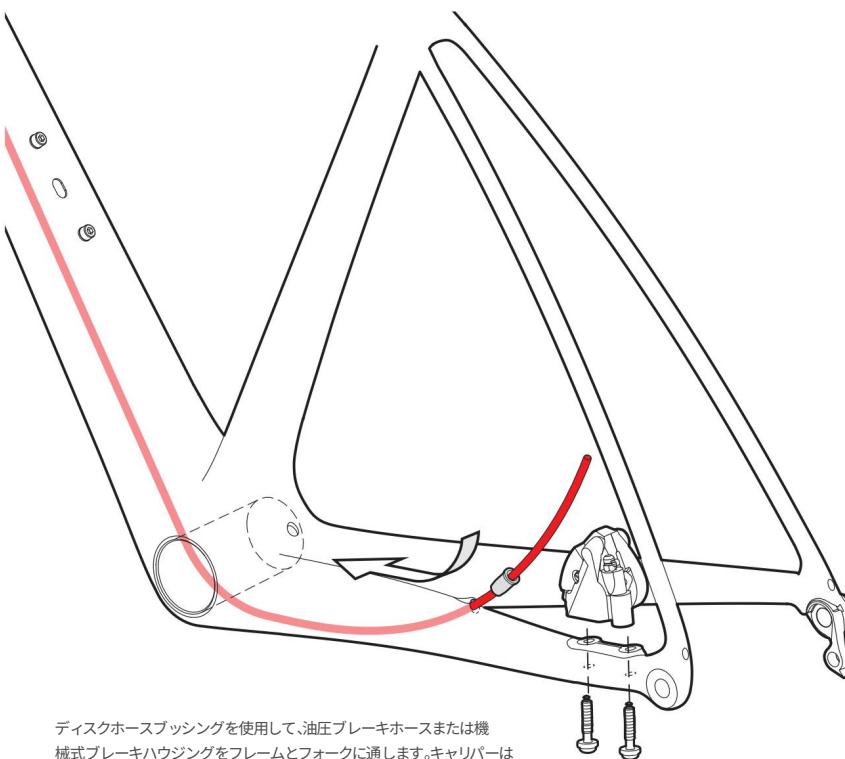
フロントディレイラーアセンブリを取り付ける際にチェーンキャッチャーを取り付けます。チェーンを最小チェーンリング、最大力セットスプロケットにセットした状態で最終調整を行います。接続ボルトを4Nmで締め付けます。

ブレーキハウジングの取り付け

油圧ブレーキホースまたはブレーキケーブルハウジングを最初に取り付けることをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。油圧式ディスクブレーキおよび機械式ディスクブレーキのいずれの場合も、部品メーカーのサービスセンターにお問い合わせください。

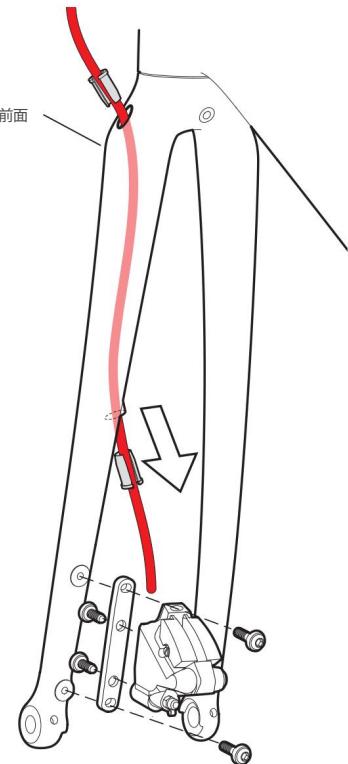
詳細については、または Web サイトをご覧ください。





ディスクホースプッシングを使用して、油圧ブレーキホースまたは機械式ブレーキハウジングをフレームとフォークに通します。キャリパーはメーカーの指示に従って取り付け、調整してください。

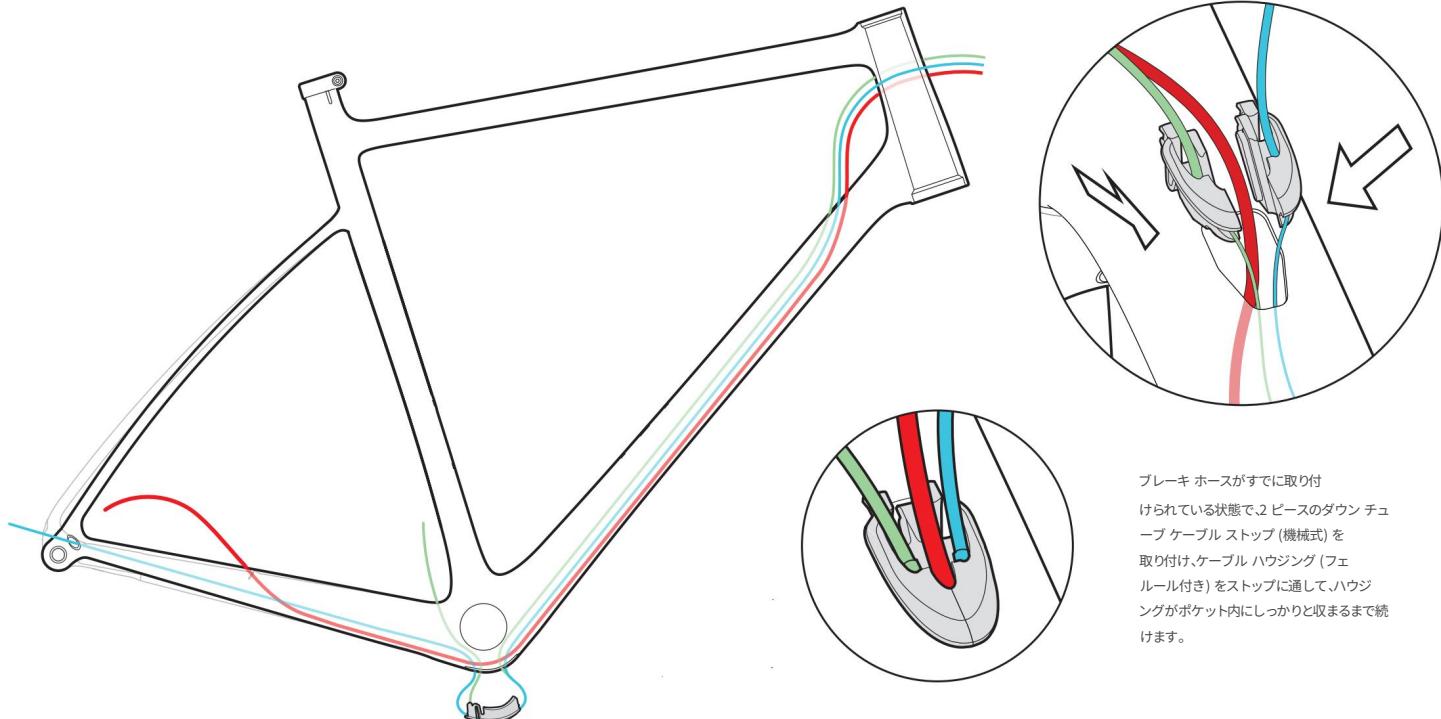
注意: C3 および C2 のブレーキ
ライン入口穴はフォークの前面
にあります。



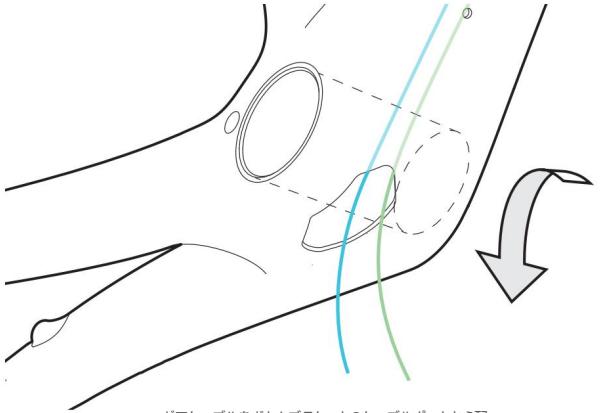
機械ケーブル配線

ブレーキホースを取り付けた後に、フロントおよびリアディレイラーケーブルを取り付けることをお勧めします。

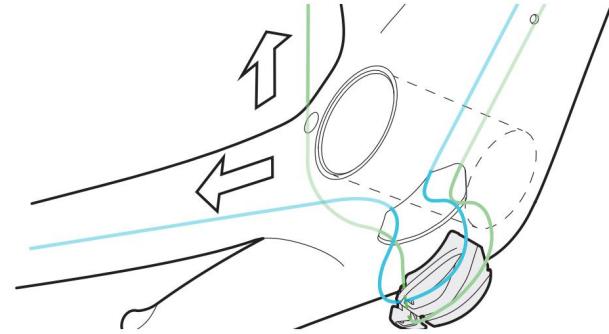
これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。



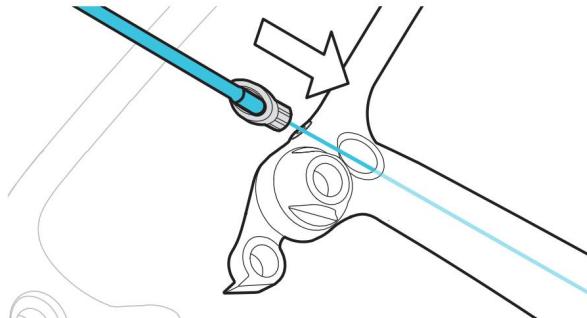
ブレーキ ホースがすでに取り付
けられている状態で、2 ピースのダウン チュ
ーブ ケーブル ストップ（機械式）を
取り付け、ケーブル ハウジング（フェ
ールル付き）をストップに通して、ハウジ
ングがポケット内にしっかりと収まるまで続
けます。



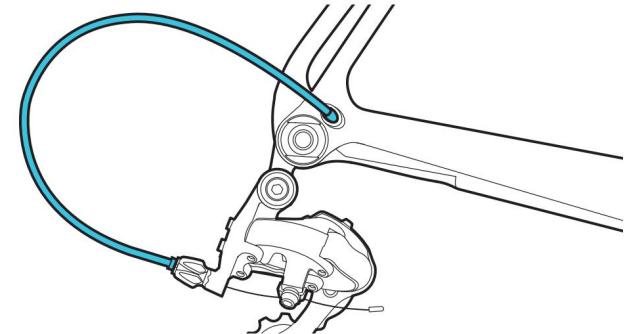
ギアケーブルをボトムプラケットのケーブルポートから配線します。ケーブルが絡まっていないことを確認してください。



フロントケーブルは非ドライブサイドのスロットを横切り、シートチューブの方向へ進みます。リアケーブルはドライブサイドのスロット通り、チェーンステーに沿って進みます。完了したら、ボトムプラケットケーブルガイドをカチッとはめ込みます。



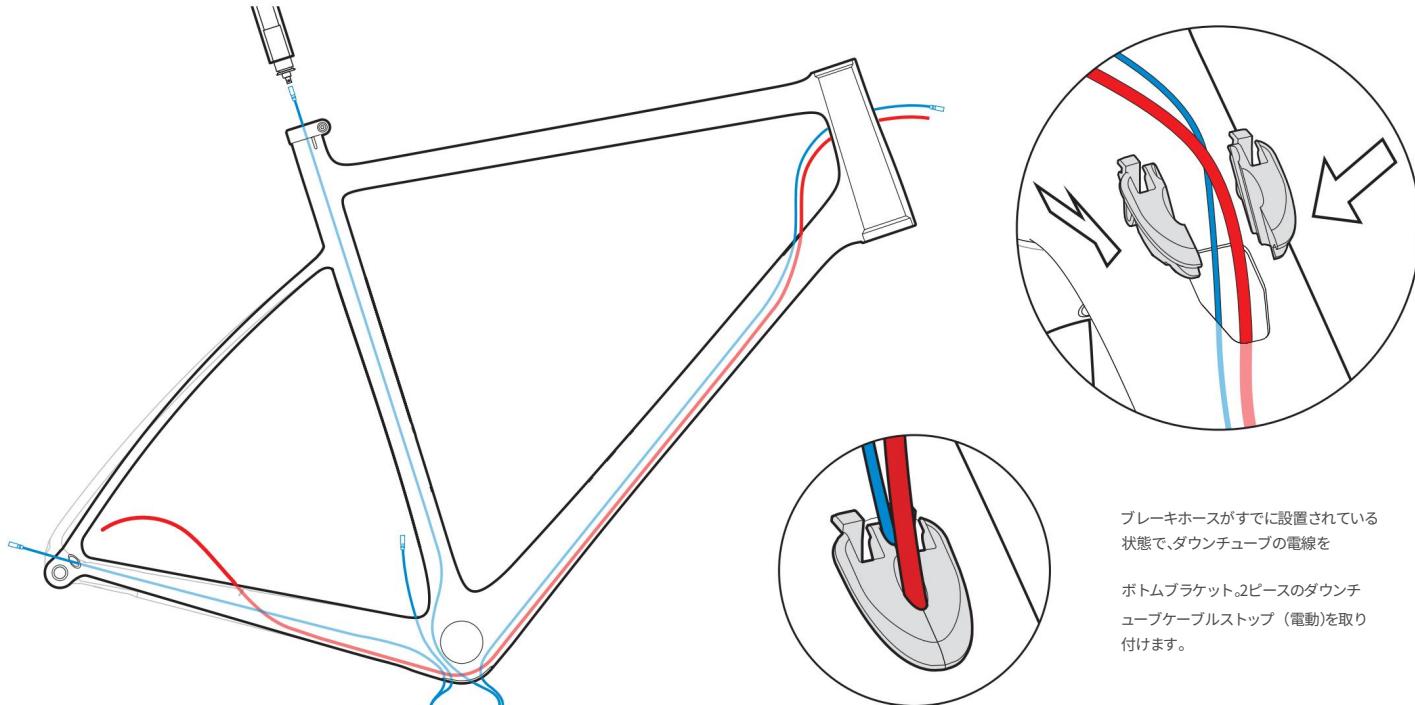
リアディレイラーブレインケーブルストップを取り付けます。



製造元の指示に従って、リアディレイラーハンガーに取り付け、適切なハウジングの長さにカットし、ケーブルを取り付けます。

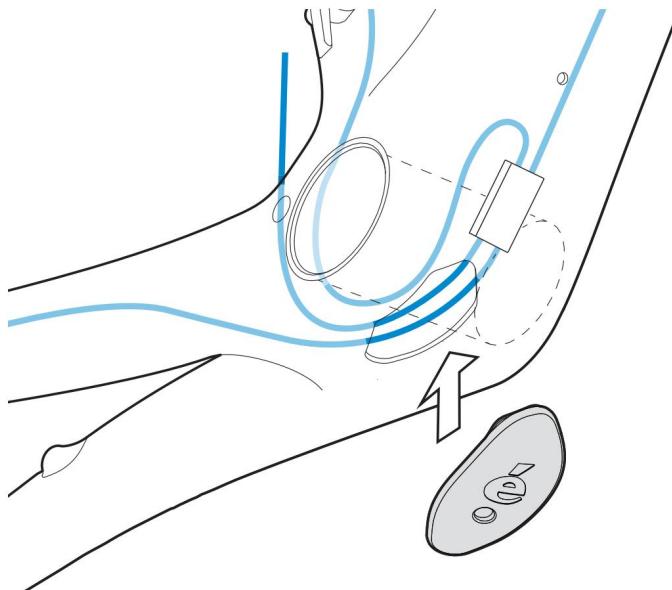
電気ケーブル配線

ブレーキホースを取り付けた後に、電気配線と接続ポイントを設置することをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、部品メーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

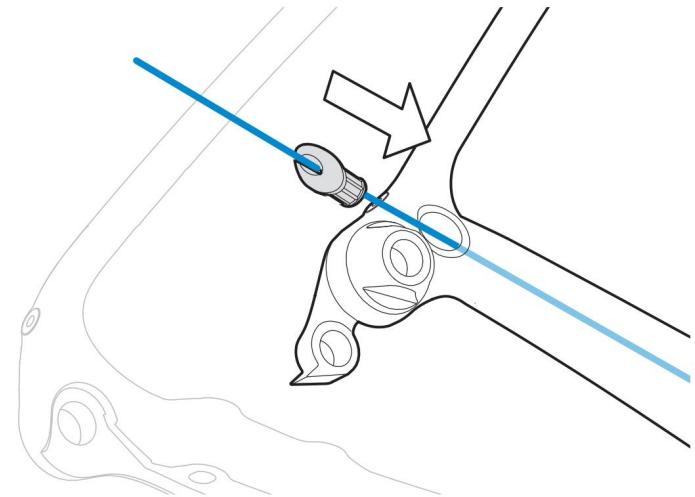


ブレーキホースがすでに設置されている
状態で、ダウントゥーブルの電線を

ボトムブラケット用2ピースのダウントゥーブル
ストップ（電動）を取り付けてください。

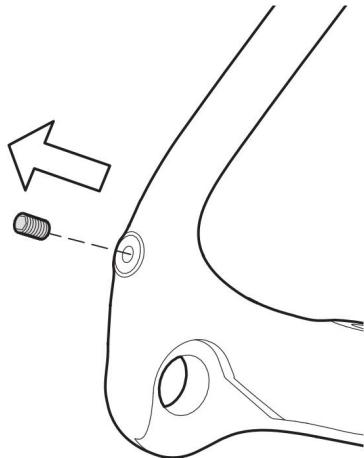


すべてのワイヤーを内部に入れたまま、ボトム ブラケット アクセ
ス ポートをボトム ブラケット アクセス ポート ラバー ブラン
ク プラグで覆います。

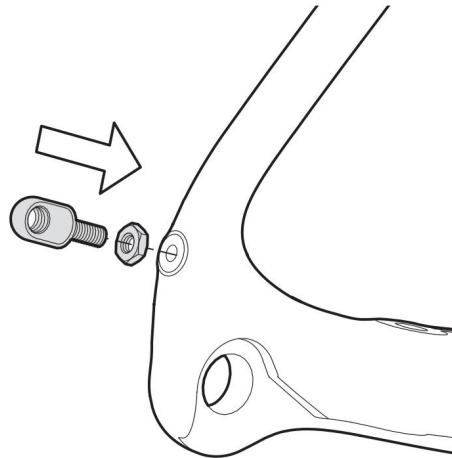


リアディレイラーウイヤーガイドを取り付けます。

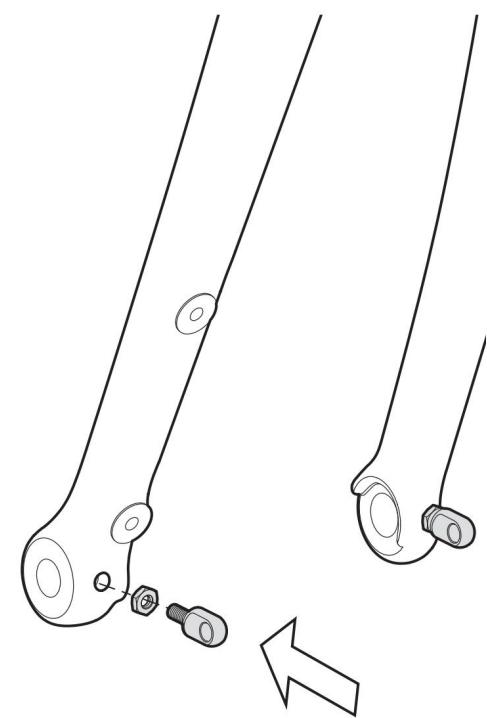
マッドガードの取り付け



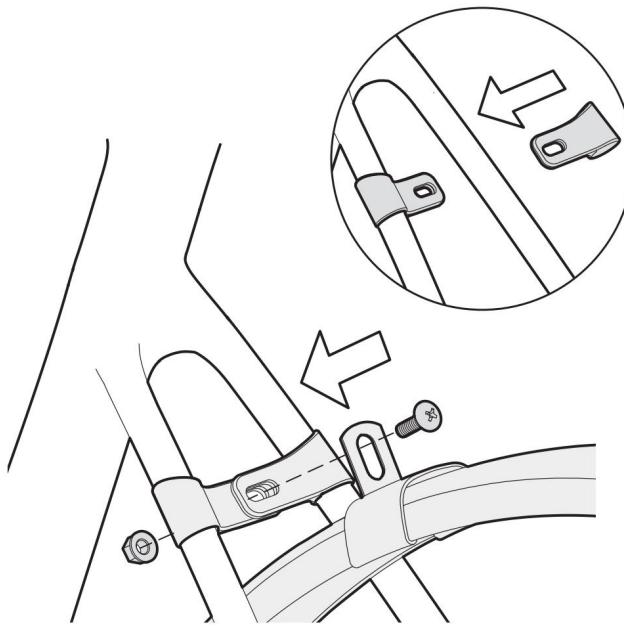
ねじ付き泥除けアイレット穴から止めねじを取り外します。



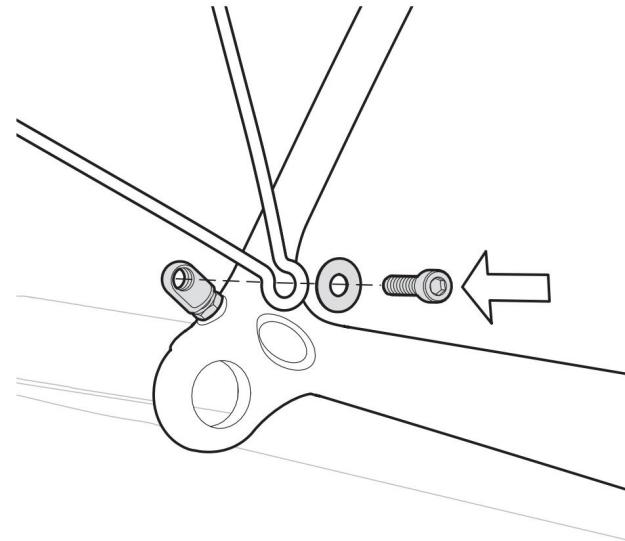
ネジ山に軽くグリースを塗り、フェンダーマウントボルトにM4ナットを取り付けます。ボルトをフレームに取り付け、手で4~4.5回回して垂直になるまで回します。4mmナットをフレームに締め付けてロックします（約1 Nm）。



▲ 締めすぎないでください。ねじ山に過度の負荷をかけると、インサートの接着が剥がれる可能性があります。アイレットの位置を固定するには、必ずM4ナットを使用してください。

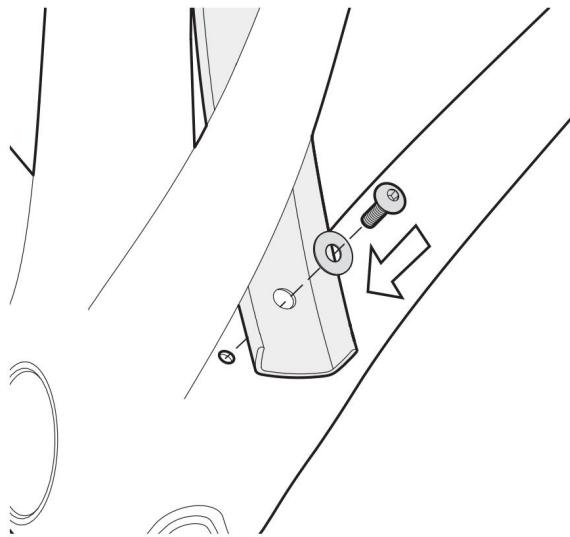


付属のM5固定ネジとナットを使用して、シートステープリッジを取り付けます。
マッドガード固定ネジをすべて締め込み、最終調整を行うまでは、指で締める程度に留めておくことをお勧めします。高さ調整はメーカーの指示に従ってください。

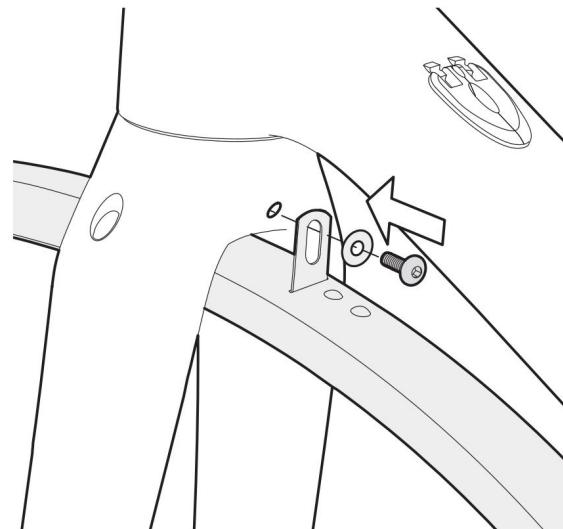


メーカーの指示に従ってマッドガードステーを取り付けます。

⚠ Cervélo C シリーズアイレットはマッドガード専用に設計されており、カーゴラックの使用はサポートされません。

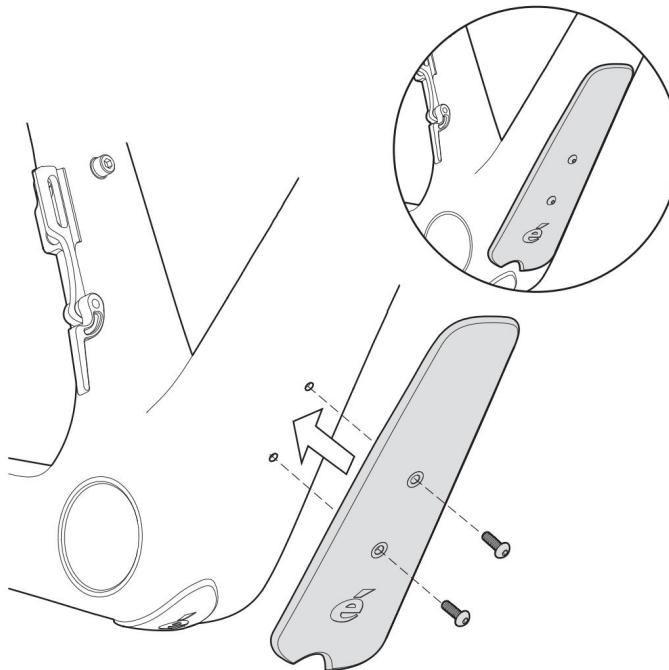


グリースを塗った M5 固定ネジとワッシャーを使用して、アイレットの外側にマッドガードを取り付けます。

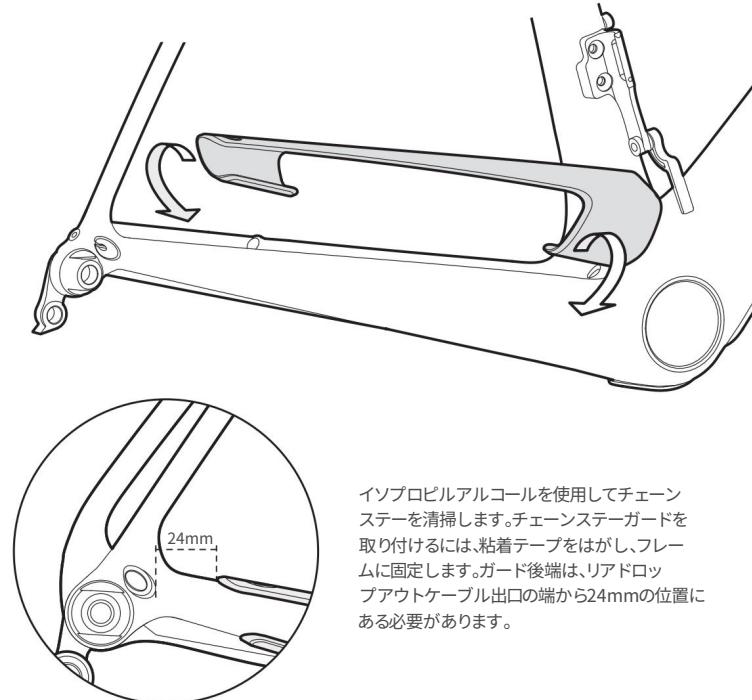


メーカーの指示に従って、グリースを塗った M5 固定ネジとワッシャーを使用して、フロント マッドガード ハンガーをフォークの後部に取り付けます。

フレームガードの取り付け

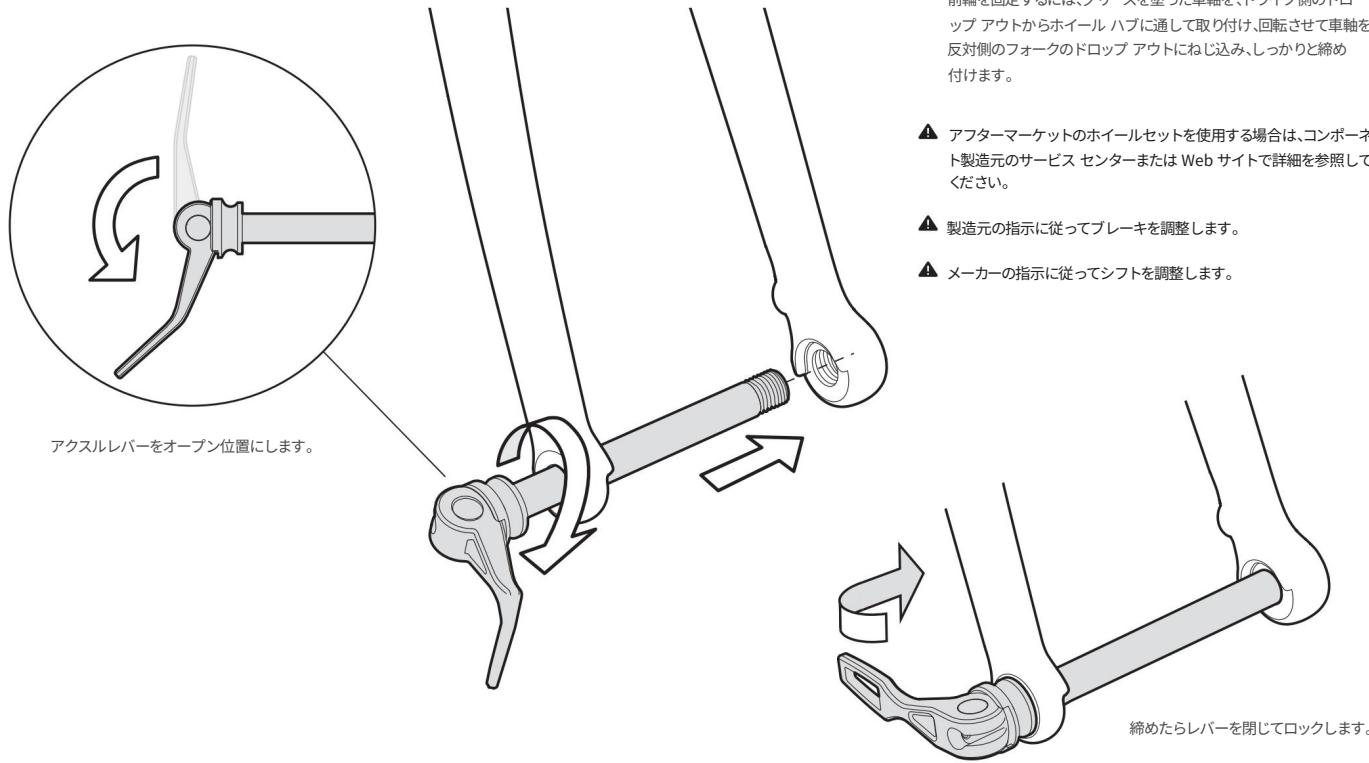


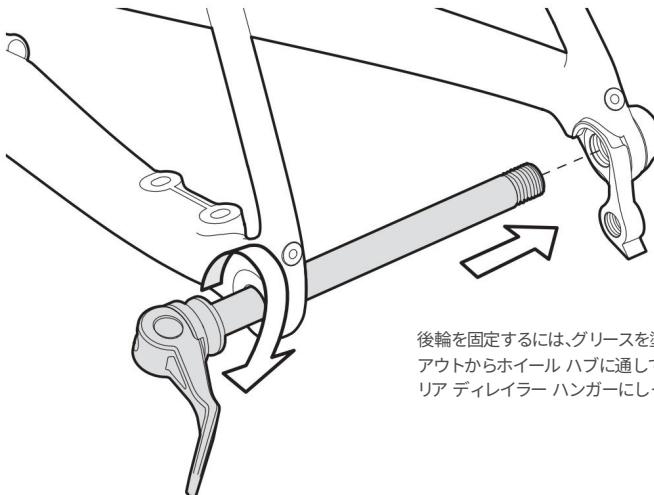
ダウンチューブをイソプロピルアルコールで清掃します。ダウンチューブガードを取り付けるには、粘着テープをはがし、2本のM4固定ネジで固定します。



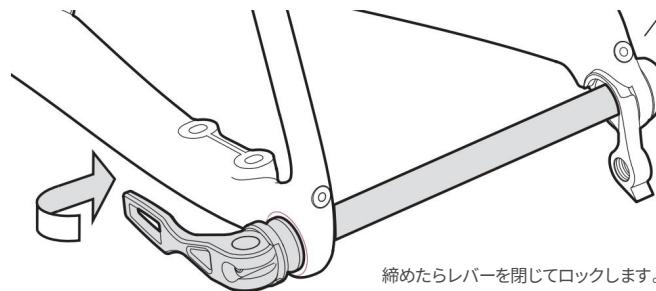
イソプロピルアルコールを使用してチェーンステーを清掃します。チェーンステーガードを取り付けるには、粘着テープをはがし、フレームに固定します。ガード後端は、リアドロップアウトケーブル出口の端から24mmの位置にある必要があります。

スルーアクスルホイールの取り付け

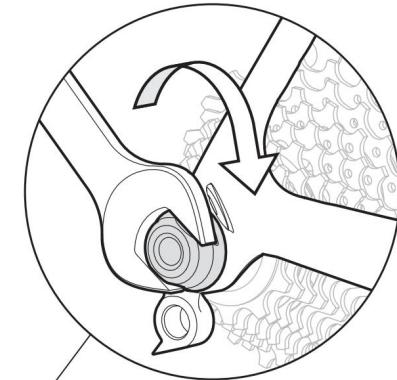




後輪を固定するには、グリースを塗った車軸を非駆動側ドロップアウトからホイールハブに通して取り付け、回転させて車軸をリアディレイラーハンガーにしっかりとねじ込みます。



締めたらレバーを閉じてロックします。



17mmレンチを使用してリアディレイラーハンガーフィクスナットを最終締め付けします。
このアクションは最初の組み立てに固有のものであり、その後の調整は必要ありません。

Cシリーズマニュアル

www.cervelo.com
CER-C23-V2

cervelo